



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 年度 広島北ロータリークラブ週報

2011年8月18日発行 Vol. 1282

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー氏
国際ロータリーテーマ
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
Reach Within to Embrace Humanity

■会長 高原 宏之 ■幹事 栗屋 充博
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会場 ホテルグランヴィア広島 広島市南区松原町 1-5

■本日の例会 2011年8月18日(木) 第2053回
ロータリーソング 「手に手つないで」
来客紹介 ローター-家族親睦委員会
連続出席表彰
会長時間
幹事報告・委員会報告
ニコニコ箱
卓話時間 職業奉仕委員会担当
「お互いをもっと詳しく知るために」
高原 宏之 会長
三宅 信博 会員
庄子 佳良 会員

前回例会報告 2011年8月11日(木) 第2052回

ロータリーソング 「われらの生業」
来客紹介 ローター-家族親睦委員会
連続出席表彰
会長時間
幹事報告・委員会報告
卓話時間 「中国地方の電力需給と
原子力発電について」
中国電力(株)
電源事業本部部長 林 司 様

連続出席表彰



3年 水野 会員
3年 上田 会員
15年 山下江 会員



会長時間 会長 高原 宏之

本日卓話を頂きます林 様、本日は当クラブへお越し頂きありがとうございます。又、本日は例会終了後のクラブ協議会の開催にあたり、グループ6ガバナー補佐の齋藤隆幸様、ガバナー補佐幹事の松井敏様にお越し頂いております。齋藤様、松井様お忙しい中お越し頂きありがとうございます。本日はよろしく願い申し上げます。さて、今日の会長時間は今年度のRIテーマについて話をさせていただきます。田村泰三ガバナーはRIテーマの解釈として、ガバナーメッセージ

の中で次のように説明されています。
「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」。RI会長が掲げたテーマです。“こころ”とは“考え”あるいは“観念”ともいえるでしょう。固定観念を持ち続けるのではなく、新しい考え方ができるように自分から努力することが必要です。人は感動を受けると人生観が変わるといわれています。誰もがそのような経験を持っています。他の人の意見を聞き、違う意見を理解したり、異文化に接すると“考え方”が変わっていきます。“こころの中を見つめよう”というのはこのようなことを意味していると思います。ロータリーの中核となる価値観は、親睦、奉仕、多様性、高潔性、リーダーシップであり、多様性は他の人の意見や考え方を理解し認めることです。また、ロータリーには職業分類があり、ロータリーは異なる職業人の集まりです。“ロータリーが異なる職業人の集まりである”という事は、多様性という価値観を身につけるために欠くことのできない条件であると言えます。

このように考えてみると“こころの中を見つめることは”決して容易なことではなさそうです。しかし一旦この手法を身につけると、毎月商品の棚卸しをするように、“こころの棚卸し”として比較的容易にできるようになるかもしれません。こころの棚卸しができれば精神的に常に進歩し続けることになるでしょう。これは人を必ず幸せにするための根源であり、自分だけでなく、他の人にも博愛を広げることにつながります。そしてこのようなことが広がっていけば、世界平和も夢ではないと捉えることができます。バネルジー会長は自分自身を見つめ直すこと、すなわち、深く自己を見つめ直すこと、深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望をもっていることを理解してほしいと訴えています。

そしてこの事が、3つの協調事項につながっていくことは、すでにお気付きのことだと思います。即ち第一は“家族”、強い家族を築くこと、第2は“継続”得意とすることの継続であり、第3は“変化”、変える必要があることは変えていくということです。このように2011-12年度のテーマは一見難解に思われますが、ロータリーの核心を表現した意味の深いテーマであると言えます。

ガバナー補佐ご挨拶



国際ロータリー第2710地区
グループ6ガバナー補佐
齋藤 隆幸 様

今年度ガバナー補佐という大役を仰せつかりました広島RCの齋藤でございます。

RCに入会して28年になりますが、まさかこのような大役が回って来るとは夢にも思いませんでした。3年前に会長を終え、ほっとしていたところですが、長老の鶴の一声によりこの大役を引き受ける

こととなりました。

北RCにはお世話になった先輩方が沢山おられ、特にJC時代にお世話になった方々が20名近くもおられます。こちらに入会した方が良かったのではないかと思います。皆様方のご活躍はいろいろなところで耳にしておりますが、先般の野球大会でも優勝されたり、例会出席率においても100%を継続されていたり、また、この度の東日本大震災においても早々に援助をされたと聞いております。

ガバナー補佐の役割としては、本年度ガバナーの方針をお伝えする事ですが、各RCを回って、それぞれの良いところを参考にして、それをまた各RCにお知らせすることもあろうかと思います。クラブ協議会においても色々な話を聞かせて頂きたいと思っております。ご承知の通り、世の中は大変厳しい状況であり、広島会の会員数も減少しておりますが、RCの精神である相互扶助に立ち返り、なんとかRC活動を盛り上げて、微力ではありますが、頑張ってお参りたいと思っております。1年間宜しくお願いを致します。

幹事報告 幹事 粟屋 充博

- * 公式訪問について
8/25はガバナー公式訪問です。例会終了後にクラブフォーラムを開催します。「当日は服装はクールビズでお願いします」とのガバナーのご意向ですので、よろしくお願いします。
- * 地区大会について
地区大会本登録の依頼がございました。本日、BOXに案内と回答書をお配りしておりますので、よろしくお願いします。
10/16(日)の本会議には多数ご参加頂きますよう、特に入会3年未満の方は出席義務となっておりますので、是非、登録頂きますようお願いいたします。
- * 例会終了後、第1回クラブ協議会を開催します。3F「飛鳥」
- * 事務局盆休み 8/12(金)～8/16(火)
- * ローターの友(BOX配布)
- * 地区大会ご案内(BOX配布)

委員会報告

- 財団プログラム委員会 山下正司委員長
ロータリー財団寄附のお願い
- 社会奉仕委員会 山下 江委員長
9/5(月)新天地交番へのAED寄贈を新天地公園にて行ないます。また、8/30委員会を開催します。追ってご案内をお送りいたします。
- 会報IT委員会 上河内副委員長
縦組みP2 アマゾンの森は今！
戦後25歳で移住し、アマゾン開拓にかかわった日本人の苦難に苦難のお話です。その中には、日本とアマゾンの森との意外なつながりなど、興味深く、「こんなこともあったのか」と、目からうろこの内容が続きます。しかし、中でも最も面白いと思ったのは最後の部分です。筆者が、問題があるとされる日本の子供たちを預かり、ある方法で、その子供たちが立ち直っていくということなのですが、今の日本に欠けていること、必要なことを教えてくれる内容が書かれています。それが何であるか、知りたい方は是非お読み下さい。
横組みP5 会員増強および拡大月間 会員数について考える
6ページのグラフを見ると、14、5年前の会員数は約13万人で、2011年4月現在9万人となり、4万人も会員は減っています。しかし、クラブ数はほとんど減っていないことがわかります。その結果、少人数でがんばっているクラブが50弱存在しているというのが現状です。今、わが北RCは会員数を増やさないと今後のクラブ運営に支障をきたすとされています。10人以下の少人数のクラブは一体どんな運営をしているのか？不思議な気持ちで一杯になってしまいました。
横組みP33 ローター基本知識
最近入会された会員や私みたいに中身を全然理解していない会

員の皆様は是非読んで覚えてください、そうすれば、優秀な会員の話も理解でき、真面目にロータリー活動をしていると少しは認めてもらえるのではないかと思います。

頑張りましょう！
是非、ご一読ください！！

ニコニコ箱 ニコニコ委員会

【自主出宝】

- 高原会員・大の木会員・粟屋会員・岡部会員・合田会員**
林 様、今日はお忙しい中当クラブにお越し頂きありがとうございます。本日の卓話、楽しみにしています。
- 高原会員・大の木会員・粟屋会員・岡部会員・合田会員**
斉藤様、松井様、本日は当クラブへお越し頂きありがとうございます。本日のクラブ協議会、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
- 久保田会員・越智会員** 林 様、斉藤様、本日の卓話にお越し頂きありがとうございます。よろしくお願ひします。
- 木下会員** 中国電力 林 様、本日はよくいらっしやいました。卓話楽しみにしております。よろしくお願ひします。
- 上田会員** 早いもので入会3年になりました。これからもよろしくお願ひ致します。
- 神農会員** 妻の誕生日に美しい花をありがとうございました。
- 中村会員** この度クラブより妻に花束を頂きました。彼女はヒト様から花を頂いたのは五十数年来、始まって以来の事で大変喜んでおりました。
- 粟屋会員** 先週の例会(8/4)で進行を急ぐあまり、幹事報告を飛ばしてしまいました。プログラム時間に入りその事に気付き、かろうじて最後に報告させて頂きましたが、以後このような事がないよう気を付けます。
- 粟屋会員** 先週の例会の最後にSAAの報告をお願いする時、「坪内SAA長」と申し上げるべき所、先月に続き又も「杉町SAA長」と言ってしまうと。坪内さん、大変失礼しました。2回目ですので2千円お詫びの出宝をさせていただきます。もし3回目をしでかした時は3千円出宝します。
- 小田会員** 本日所用につき早退させていただきます。

当日計 20,000円(内、web13,000円) 累計 239,000円
★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=2,000円

★ニコニコ委員会より
今回の例会もご紹介が出来ませんでした。ご出宝頂きました皆様申し訳ございません。次回3週分をご紹介致します。

卓話時間

『中国地方の電力需給と原子力発電について』

中国電力株
電源事業本部部長 林 司 様



ただいま御紹介頂きました中国電力の林でございます。本日は広島北ロータリークラブの例会において卓話させていただく機会を頂きまして、ありがとうございます。

1. 今夏の中国地方の電力需給の見通し

●はじめに
今年3月に起きました東日本大震災で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

また、福島第一原子力発電所における事故については、原子力発電所を運転する事業者として、大変重く受け止めております。そうした中、震災以降、電気事業をめぐる環境は厳しく、先行きも不透明な状況にあり、今後、国レベルで原子力発電にかかる規制に見直しや、日本のエネルギーの在り方等について論議が行われようとしておりますが、良質な電気を安定してお届けすることが、当社の使命であるとあらためて強く感じております。

●供給設備の概要

当社の主な発電所は、工場等の需要が集中する瀬戸内海側に設置しており、当社の供給力は全体で1,198万kWを確保しております。

原子力発電所については、島根県に1ヶ所(運転中)、山口県の上関に計画をしています。

現在、建設中の島根3号機(137.3万kW)については、既に建物建築工事はほぼ終了し、試運転を開始する準備までできておりますが、制御棒駆動機構の不具合や津波対策の実施等により営業運転開始時期が未定となっておりますが、現在、安全確保を最優先に一日も早く運転が開始できるよう取り組んでおります。

また、送電線は、関西電力、四国電力、九州電力につながっており、各社間で電力を融通しあうことができます。

●電力需要の見通し

省エネルギーの進展や人口の減少などの影響はあるものの、情報化および高齢化社会の進展、快適志向の高まりや電化住宅の普及拡大などにより、生活関連需要は、今後とも着実に増加するものと見込んでおりますが、産業用需要は景気回復による生産水準の上昇が見込まれるものの、緩やかな増加にとどまるものと考えております。

その結果、平成32年度の販売電力量は656億kWh、平成21年度から32年度までの年平均伸び率は1.1%と想定し、エネルギーセキュリティ、地球温暖化問題への対応等を勘案し、原子力をはじめとするバランスのとれた電源構成を目指して電力を確保します。

●電力需給の状況

先ほどの生活関連需要に着目しますと、電化住宅の普及状況については、新築の5割、戸建は8割が安心・クリーン・経済的などの理由でオール電化が採用されてきており、平成23年3月末現在の累計で、電化住宅は約48万戸、エコキュートは約25万台となっております。

●一日の電力需要の推移と発電厚生

電気は貯蔵できないという特性から、消費される電気の量に合わせて、発電所では電気を作っています。

当社における最大電力需要を記録した1日の需要カーブを確認しますと、一番低い朝方の約700万kWから昼間のピークとなる1,228万kWの電力需要に対応するため、それぞれの利点を活かした発電設備を効率よく活用しています。

一定の出力で運転する原子力発電をベースに、次に安定的に入手のできる石炭を中心とする火力発電、そしてきめ細かい起動・停止は可能な水力発電で最大電力に対応しています。

●今夏の需給見通し

今夏の需給に万全を期しておりますが、8月10日の三隅発電所の停止による電力需給の影響については、一時的に供給力は減少するものの、予備力は確保できており、安定供給に支障はないと考えております。

安定供給に必要な供給予備率が、当初計画(14.6%)を下回る状態にあります。当面(盆期間8/9～8/16)は、最大需要1,060万kWを想定しており、予備力175万kW、予備率16.5%を確

保しております。

また、盆期間以降については、最大需要1,165万kWに対し、予備力70万kW、予備率6.0%となる見通しで、皆さま方には、無理のない節電、省エネをお願いいたします。

●安定供給に必要な供給予備率

電力の確保に当たっては、発電設備の故障や、急激な需要増加などに対応できるよう、常にある程度の電力が補給できるように、設備の余裕などを確保しています。

それらの予備施設で発電・供給可能な電力量は「供給予備力」と呼ばれており、どの程度の供給予備率を確保しておくべきかという値は、予備供給が必要となる機会の出現度などから計算によって求められています。

供給予備率は、発電設備の停止や需要の変動を受けるため、日本では8～10パーセント程度の供給予備率が必要とされていますが、中国地方で気温が1度上がると、電力需要が約37万kW増加し、その結果、供給予備率が約3%減少します。

●電力需給の見通しのお知らせ

中国地方の電力需要については、他の電力と同様に、(当社)ホームページにて「本日の電力需給の見通し」をお知らせしており、本日(8/11)の予想最大電力は1,020万kW、ピーク時の供給力は1,191万kWが確保されています。

●わが国の原子力発電所の運転状況

現在、わが国の原子力発電所は、54基中14基が運転しており、当社の島根2号機についても、来年1月には定期検査により停止する計画で、このままいけば、来年の3月には全てに原子力発電所が停止することになります。

一方、定期検査を終了した発電所は、国の安全性評価(ストレステスト)を受けた後に運転再開をすることになっており、その評価に当たって、現在、国において検討が進められている状況です。資源の乏しい我が国にとって、エネルギーセキュリティ確保は変わらぬ大きな課題であり、電力の安定供給および地球温暖化防止のためにも原子力発電は必要であると考えております。

原子力発電所の運転にあたっては安全・安心が大前提であり、今後とも、皆さまに安心していただけるよう、安全確保に万全を期してまいりますので、何卒、ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2. 島根原子力発電所の津波対策

DVDにより対策状況をご紹介します

【概要】

当社は、今回の福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、これまでに得られた知見や国からの指示を受けて、島根原子力発電所における必要な対策を検討し、緊急安全対策を実施するとともに、更なる信頼性向上対策についても、準備ができたものから順次取り組んでいます。

今後、国レベルで徹底的な説明が行われ、新たな知見が得られ次第、的確に対応し、安全最優先の考えのもと、全社をあげて取り組んでまいります。

●緊急安全対策

津波が敷地内に浸入し、電源機能や炉心を冷却する機能等を喪失した場合でも、炉心や使用済燃料の損傷を防止するとともに、原子炉・使用済燃料プールを安定的に冷やす機能の回復を図るため、以下の対策を実施しました

- ・重要な機器が津波により冠水することを防止するため、出入口扉等の浸水防止対策を実施。
- ・非常用のディーゼル発電機が使用できなくなった場合にも電源が確保できるよう、高圧発電機車および可搬式発電機を配備

- ・原子炉および使用済燃料プールの冷却手段がなくなった場合に備え、消防ポンプ車等による代替注水手段を確保
- ・原子炉格納容器内の圧力上昇を防ぐため、電源が無くても圧力が下げられるよう、発電所内に格納容器ベント用資機材を確保

●更なる信頼性向上対策

津波による被害を最小限にするための設備強化や重要設備を代替する機能の一層の充実等、更なる信頼性向上対策を実施していきます。

- ・原子炉補機海水系ポンプの浸水を防止するため、防水壁等を設置
- ・建物内の機器を保護するため、水密性を高めた扉への取替・追加設置等により、建物内への浸水を防ぐ対策を強化
- ・発電所の主要設備への浸水を防止するため、発電所構内の海側全域について防波壁(高さを15m)を強化
- ・非常用ディーゼル発電機のバックアップとして、ガスタービン発電機を発電所内の高台(40m級)に設置
- ・原子炉補機海水系ポンプが津波により浸水した場合に備え、予備品・代替品を確保

以上



第1回クラブ協議会報告

8月11日(木)例会終了後に斉藤ガバナー補佐、松井ガバナー補佐幹事をお迎えし、第1回クラブ協議会が開催されました。各常任委員長より今年度の事業計画などの説明のあと、来る25日(木)公式訪問フォーラムのテーマを決めるべく意見を交換しました。最終的にフォーラムの議題として田村泰三ガバナーが力を入れ取り組んでおられる「認知症の人とその家族への地域社会としての支援について」とすることが決定しました。

開催日:2011年8月11日(木)13:40~14:40
出席者:斉藤ガバナー補佐様、松井ガバナー補佐幹事様
会員36名

以上



■出席報告 出席委員会

2011年8月11日(木) 会員総数81名
出席 69名 欠席 12名
来賓 3名 ゲスト 1名
7/28例会 M-up 後出席率 100%
7月度平均出席率 100%

■来客紹介 ロータリー家族親睦委員会

林 司 様 (卓話来賓)
斉藤 隆幸 様 (G 6 ガバナー補佐)
松井 敏 様 (ガバナー補佐幹事)
斉藤 文弘 様 (卓話来賓付添)

■次回例会ご案内 2011年8月25日(木) 第2054回
田村泰三ガバナー公式訪問

食事 洋食
※例会終了後13時40分よりフォーラムを開催。
(15時10分終了予定)

訃報

広島RC 山本 忠義 会員(株ワイテック 取締役社長)が、
8月4日 午前10時30分にご逝去されました。(73歳)
謹んでご冥福をお祈りいたします。